



株式会社 **ニコン**
経営戦略本部
広報・IR部

2017年3月期 第1四半期 決算説明会

2016年8月4日
株式会社ニコン

※本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスク及び不確実性が含まれます。従いまして、様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく乖離する結果となる可能性があることをご承知おきください。

Agenda

I . 2017年3月期 第1四半期の概況

II . 2017年3月期の見通し

III . 参考データ

2017年3月期 第1四半期ポイント

* 2016年3月期実績には精機事業の収益認識基準変更を遡及適用

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



◆ 前年1Q比、会社全体では 165億円減収、98億円営業増益。

【精機】

・前年比 236億円増収、143億円増益。

【映像】

・前年比 427億円減収、40億円減益。

【インストルメンツ】

・前年比微減収、営業損失は前年と変わらず。

【メディカル】

・Optosの収益計上。

◆ 今期より、精機事業の収益認識基準を全て据付完了基準に変更。この基準変更は前期実績にも遡及適用した。

2017年3月期 第1四半期 連結売上高・損益

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



* 2016年3月期実績には精機事業の収益認識基準変更を遡及適用

単位: 億円	16年3月期 1Q	17年3月期 1Q	前年実績比
売上高	1,858	1,693	▲ 165
営業利益 売上高比	51 2.7%	149 8.8%	+ 98
経常利益 売上高比	81 4.4%	170 10.0%	+ 89
当期純利益 (親会社株主に帰属) 売上高比	41 2.2%	114 6.7%	+ 73
FCF	▲ 306	▲ 17	+ 289
為替 ドル ユーロ	121円 134円	108円 122円	売上高への影響額 ▲ 145 営業利益への影響額 ▲ 34

前年比、為替影響もあり減収だが、好調なFPD装置事業により大幅増益。

* スライドで使用している数値は億円未満は切り捨ててあります。

2017年3月期 第1四半期 精機事業

* 2016年3月期実績には精機事業の収益認識基準変更を遡及適用

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



単位: 億円	16年3月期 1Q	17年3月期 1Q	前年実績比
売上高	282	518	+ 236
営業利益 売上高比	2 0.7%	145 28.0%	+ 143
半導体露光装置 新品/中古	0/7台	2/4台	+ 2/▲ 3台
FPD露光装置	8台	27台	+ 19台

中小型高精細パネル用FPD露光装置の販売台数が大幅に増え、前年比增收増益。

2017年3月期 第1四半期 精機事業

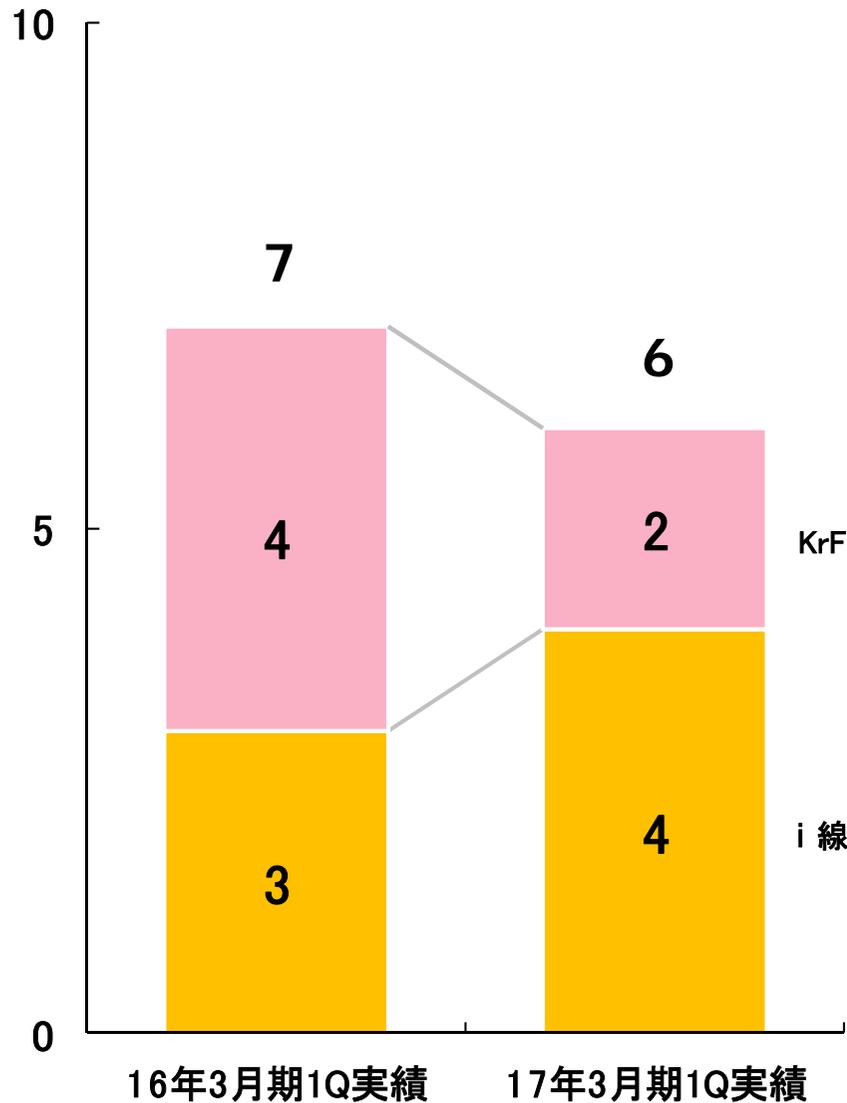
* 2016年3月期実績には精機事業の収益認識基準変更を遡及適用

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



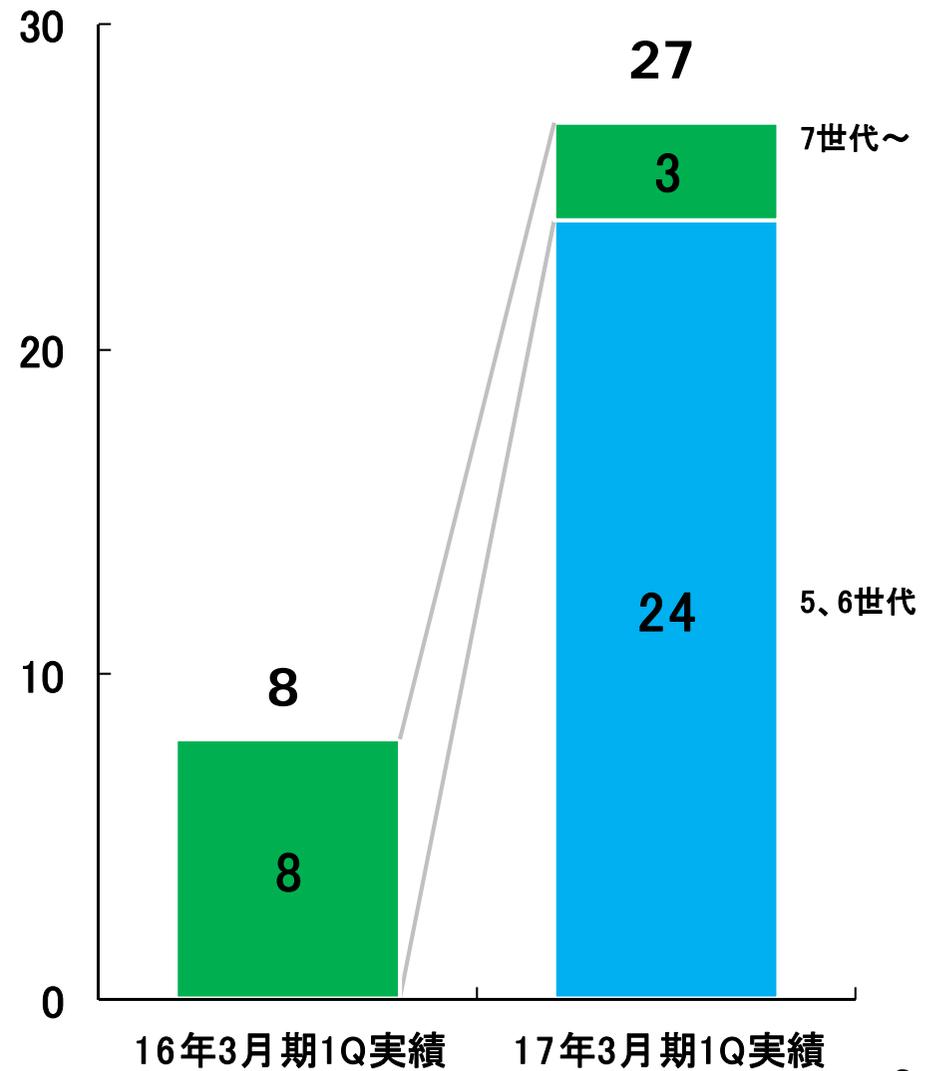
半導体露光装置光源別販売台数(中古含む)

単位:台



FPD露光装置世代別販売台数

単位:台



2017年3月期 第1四半期 映像事業

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



単位：億円	16年3月期 1Q	17年3月期 1Q	前年実績比
売上高	1,371	944	▲ 427
営業利益 売上高比	134 9.8%	94 10.0%	▲ 40
レンズ交換式 デジタルカメラ	104万台	71万台	▲ 33万台
交換レンズ	149万本	103万本	▲ 46万本
コンパクト デジタルカメラ	153万台	84万台	▲ 69万台

市場縮小・為替・地震によるマイナス影響を、商品ミックス改善・経費抑制で挽回し、営業利益率は改善。

2017年3月期 第1四半期 インストルムツ事業

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



単位：億円	16年3月期 1Q	17年3月期 1Q	前年実績比
売上高	140	134	▲ 6
営業利益 売上高比	▲ 17 — %	▲ 17 — %	± 0

為替影響により前年比減収だが、営業損益は原価改善等によりほぼ計画通り、前年並み17億円の赤字。

2017年3月期 第1四半期 メディカル事業

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



単位: 億円	16年3月期 1Q	17年3月期 1Q	前年実績比
売上高	0	42	+ 42
営業利益 売上高比	▲ 12 — %	▲ 14 — %	▲ 2

Optosの事業は計画通り。(今期から1Qより収益計上)
事業全体では、研究開発投資等により営業損失。

2017年3月期 第1四半期 B/S内訳

* 2016年3月期実績には精機事業の収益認識基準変更を遡及適用

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部

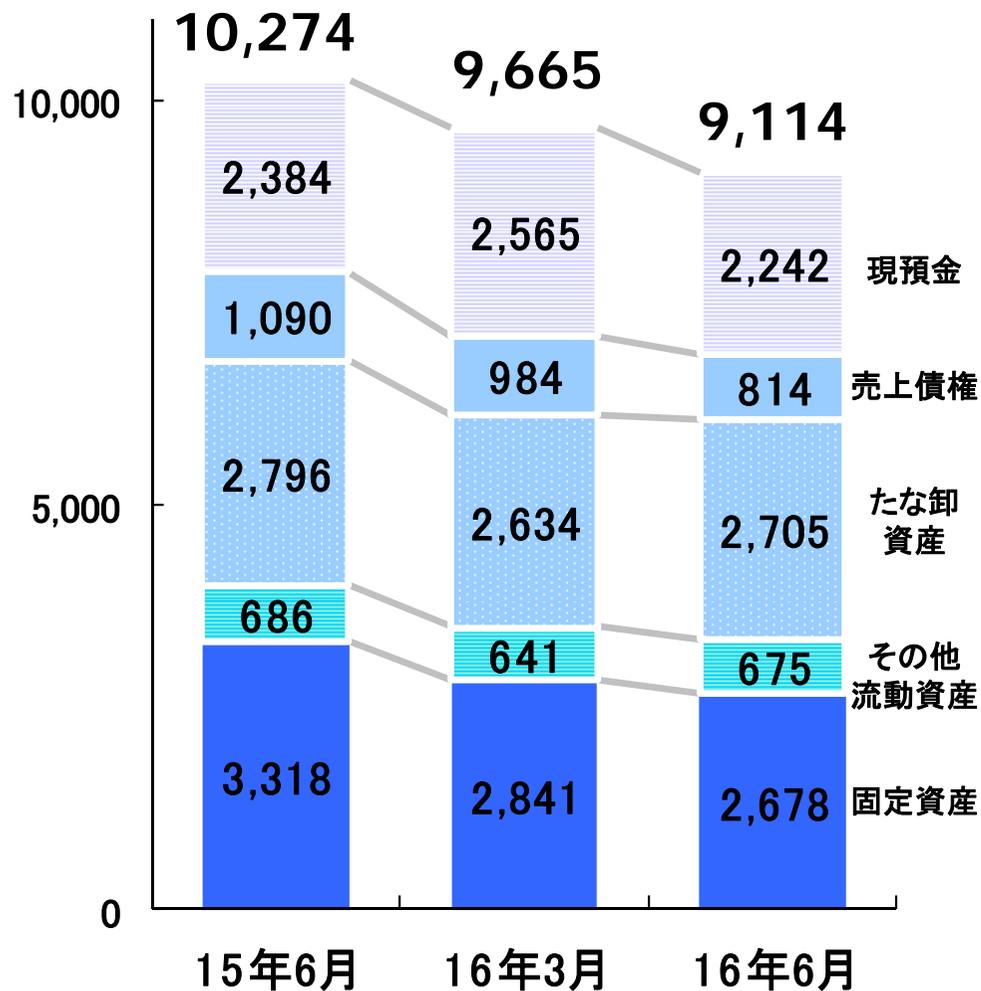


資産

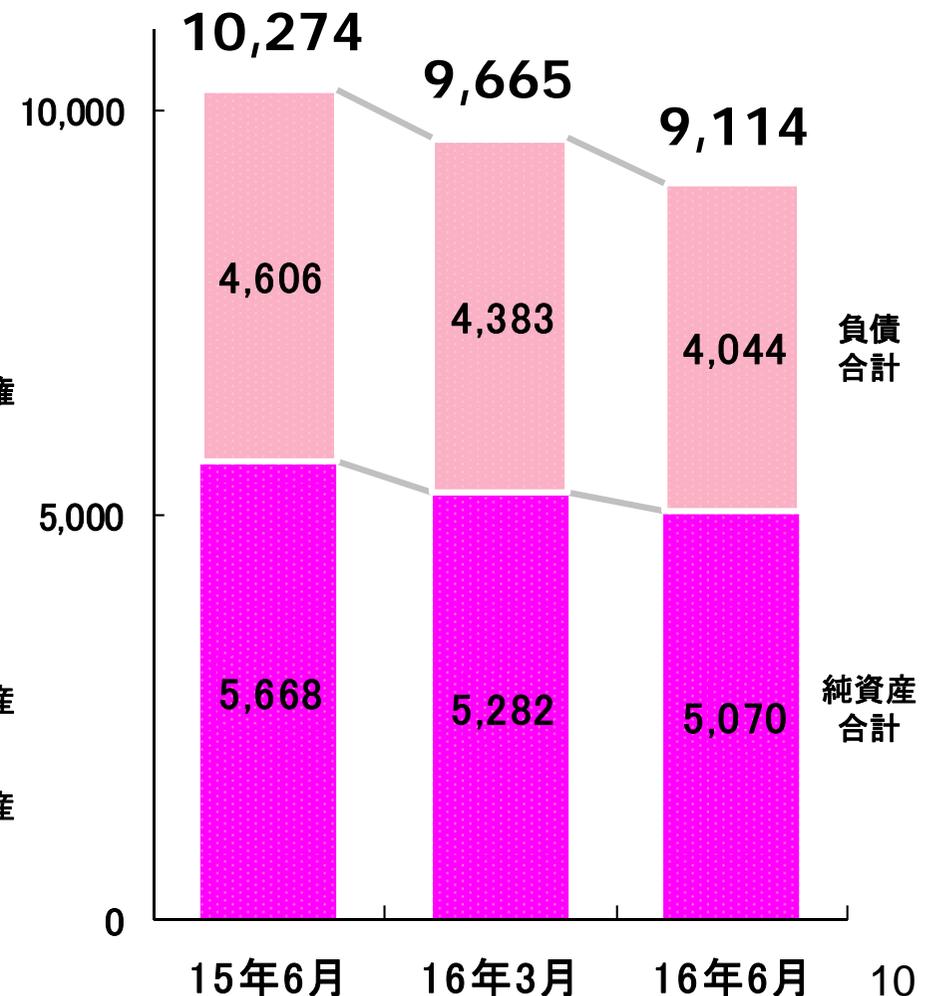
負債・純資産

自己資本比率	55.0%	54.5%	55.4%
--------	-------	-------	-------

単位:億円



単位:億円



Agenda

I. 2017年3月期 第1四半期の概況

II. 2017年3月期の見通し

III. 参考データ

2017年3月期 見通しポイント

* 2016年3月期実績には精機事業の収益認識基準変更を遡及適用

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



- ◆ 前回予想比、上期の会社全体の売上高はほぼ横ばいだが、営業利益を上方修正。下期は為替影響もあり売上高・営業利益ともに下方修正。この結果、通期の売上高は8,200億円に下方修正するが、営業利益は460億円に据え置く。前年比、売上高微増、45%営業増益の見通し。

【精機】

通期見通しを据え置く。

前年比、45%増収、営業利益は約4.2倍に増える見通し。

【映像】

売上高を170億円、営業利益を20億円それぞれ下方修正する。

前年比、19%減収、28%減益見通し。

【インストルメンツ】

売上高を20億円下方修正するが、営業利益は据え置く。

前年比、14%増収、43%増益見通し。

【メディカル】

売上高を10億円下方修正するが、営業利益は据え置く。

- ◆ 2Q以降の為替前提は、ドル105円・ユーロ115円に変更する。

- ◆ 中間配当金 12円の予定。

* 前回予想とは2016年5月13日発表における予想です。

2017年3月期 見通し 連結売上高・損益

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



* 2016年3月期実績には精機事業の収益認識基準変更を遡及適用

単位:億円	16年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (5/13)	上期 下期	17年3月期 見通し	上期 下期	前年 実績比	前回 予想比	上期 下期
売上高	8,193	$\frac{3,988}{4,205}$	8,400	$\frac{3,630}{4,770}$	8,200	$\frac{3,600}{4,600}$	+ 7	▲200	$\frac{\Delta 30}{\Delta 170}$
営業利益 売上高比	316 3.9%	$\frac{149}{167}$	460 5.5%	$\frac{190}{270}$	460 5.6%	$\frac{230}{230}$	+ 144	±0	$\frac{+40}{\Delta 40}$
経常利益 売上高比	378 4.6%	$\frac{207}{171}$	490 5.8%	$\frac{210}{280}$	490 6.0%	$\frac{250}{240}$	+ 112	±0	$\frac{+40}{\Delta 40}$
当期純利益 (親会社株主に帰属) 売上高比	182 2.2%	$\frac{115}{67}$	300 3.6%	$\frac{140}{160}$	300 3.7%	$\frac{150}{150}$	+ 118	±0	$\frac{+10}{\Delta 10}$
FCF	243		450		450		+ 207	±0	—
為替 ドル	120円	$\frac{122円}{118円}$	110円		106円	$\frac{107円}{105円}$	前年実績比	前回予想比	
ユーロ	133円	$\frac{135円}{130円}$	120円		117円	$\frac{118円}{115円}$	売上高への予想影響額	約▲200億円	
							営業利益への予想影響額	約▲50億円	
							約▲700億円		
							約▲170億円		

通期の売上高は下方修正するが、営業利益・純利益は据え置く。

2017年3月期 見通し 精機事業

* 2016年3月期実績には精機事業の収益認識基準変更を遡及適用

単位: 億円	16年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (5/13)	上期 下期	17年3月期 見通し	上期 下期
売上高	1,788	$\frac{850}{938}$	2,600	$\frac{1,260}{1,340}$	2,600	$\frac{1,220}{1,380}$
営業利益 売上高比	96 5.4%	$\frac{44}{52}$	400 15.4%	$\frac{270}{130}$	400 15.4%	$\frac{270}{130}$
半導体露光装置 新品/中古	14/21台	$\frac{4/12}{10/9}$	26/16台	$\frac{11/8}{15/8}$	26/16台	$\frac{11/8}{15/8}$
FPD露光装置	46台	$\frac{21}{25}$	90台	$\frac{53}{37}$	90台	$\frac{50}{40}$
半導体露光装置 市場規模 CY15/16	220台		210台程度		210台程度	
FPD露光装置 市場規模 CY15/16	80台		120台程度		120台程度	

通期見通しは据え置く。

前年比ではFPD露光装置の販売台数がほぼ倍増。事業全体では45%増収、営業利益は4.2倍に増える見通し。

2017年3月期 見通し 精機事業

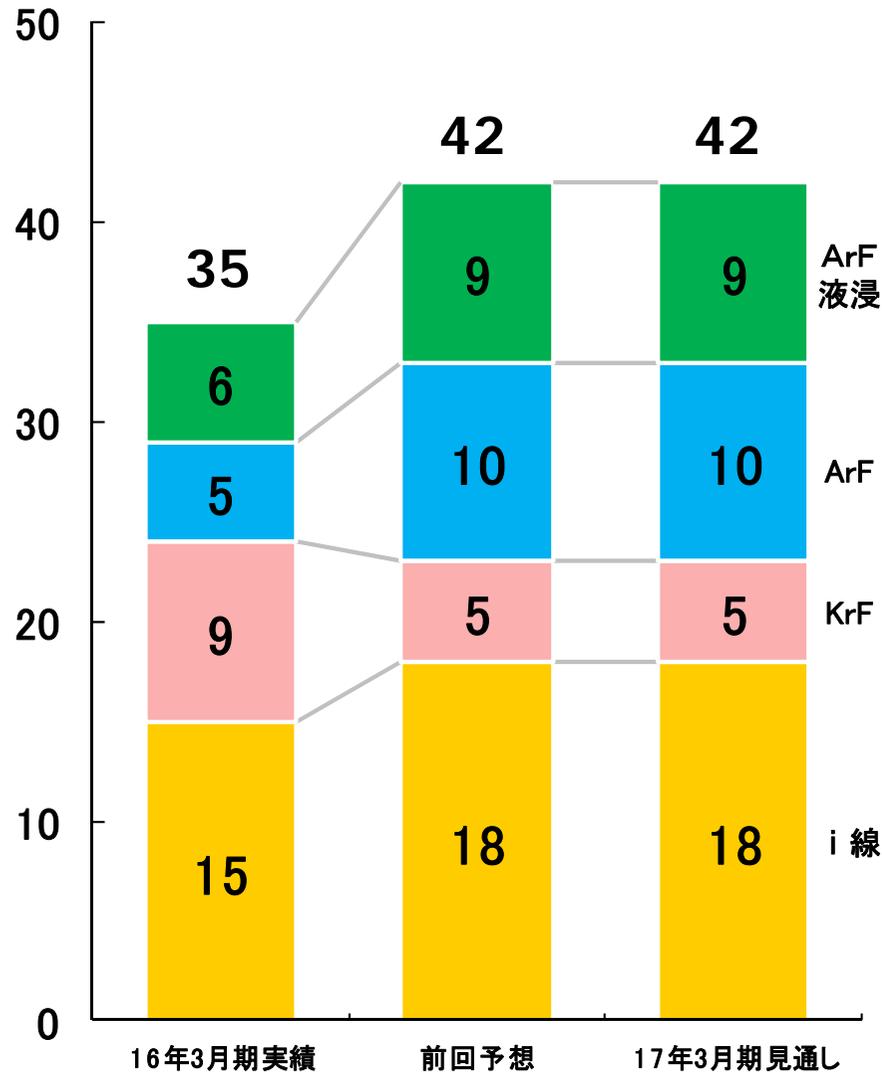
株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



* 2016年3月期実績には精機事業の収益認識基準変更を遡及適用

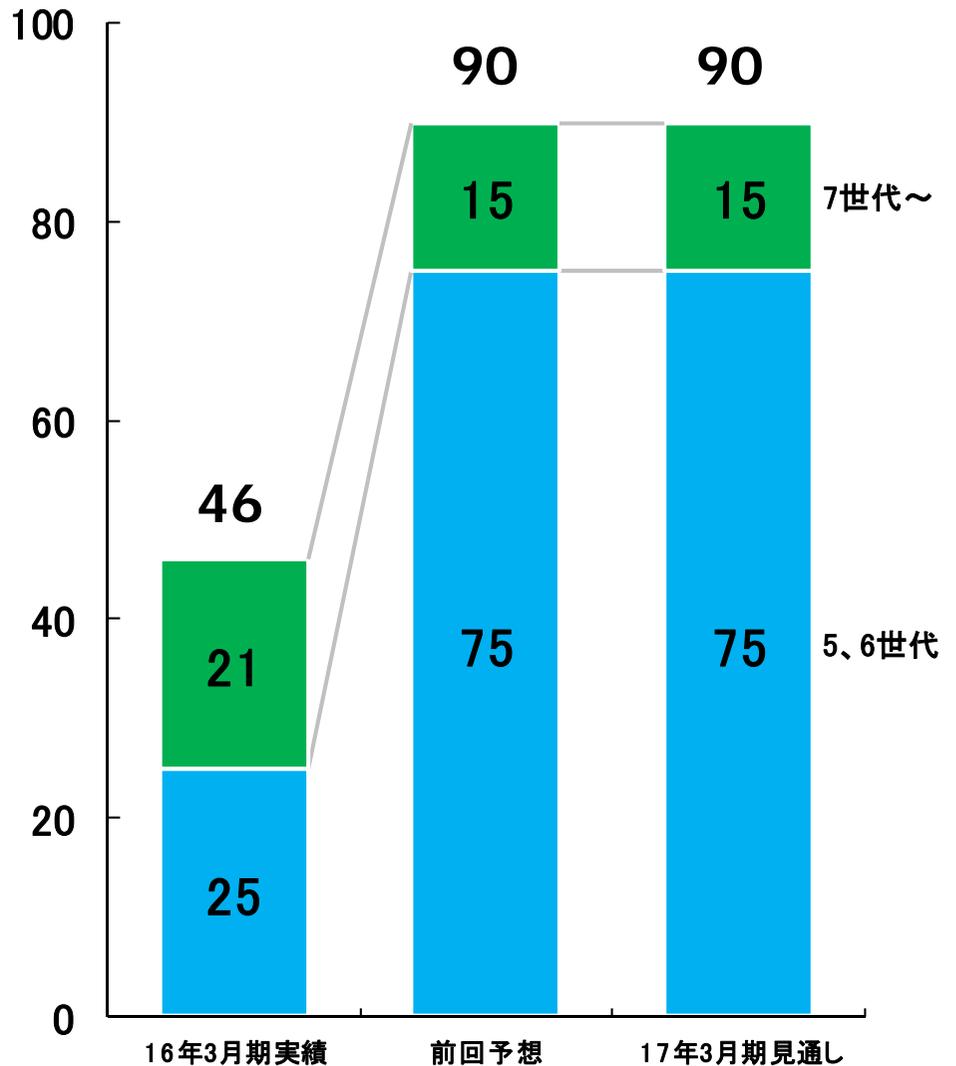
半導体露光装置光源別販売台数(中古含む)

単位:台



FPD露光装置世代別販売台数

単位:台



2017年3月期 見通し 映像事業

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



単位: 億円	16年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (5/13)	上期 下期	17年3月期 見通し	上期 下期
売上高	5,204	$\frac{2,636}{2,568}$	4,400	$\frac{1,800}{2,600}$	4,230	$\frac{1,830}{2,400}$
営業利益 売上高比	457 8.8%	$\frac{242}{215}$	350 8.0%	$\frac{100}{250}$	330 7.8%	$\frac{140}{190}$
レンズ交換式 デジタルカメラ	404万台	$\frac{200}{204}$	320万台	$\frac{130}{190}$	335万台	$\frac{145}{190}$
交換レンズ	590万本	$\frac{282}{308}$	490万本	$\frac{180}{310}$	490万本	$\frac{210}{280}$
コンパクト デジタルカメラ	623万台	$\frac{312}{311}$	370万台	$\frac{150}{220}$	335万台	$\frac{135}{200}$
レンズ交換式デジタル カメラ市場規模	1,304万台		—		—	
交換レンズ 市場規模	2,134万本		—		—	
コンパクトデジタル カメラ市場規模	2,079万台		—		—	

1Q実績を踏まえ、上期見通しを上方修正するが、下期見通しは為替のマイナス影響もあり下方修正。

2017年3月期 見通し インストルメンツ事業

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



単位: 億円	16年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (5/13)	上期 下期	17年3月期 見通し	上期 下期
売上高	772	$\frac{332}{440}$	900	$\frac{350}{550}$	880	$\frac{330}{550}$
営業利益 売上高比	28 3.6%	$\frac{\blacktriangle 5}{33}$	40 4.4%	$\frac{\blacktriangle 10}{50}$	40 4.5%	$\frac{\blacktriangle 15}{55}$

為替影響により売上高を20億円下方修正。営業利益は据え置く。
前年比では14%増収、43%増益の見通し。

2017年3月期 見通し メディカル事業

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



単位：億円	16年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (5/13)	上期 下期	17年3月期 見通し	上期 下期
売上高	183	$\frac{53}{130}$	220	$\frac{115}{105}$	210	$\frac{110}{100}$
営業利益 売上高比	▲ 46 -%	$\frac{▲25}{▲21}$	▲ 60 -%	$\frac{▲25}{▲35}$	▲ 60 -%	$\frac{▲25}{▲35}$

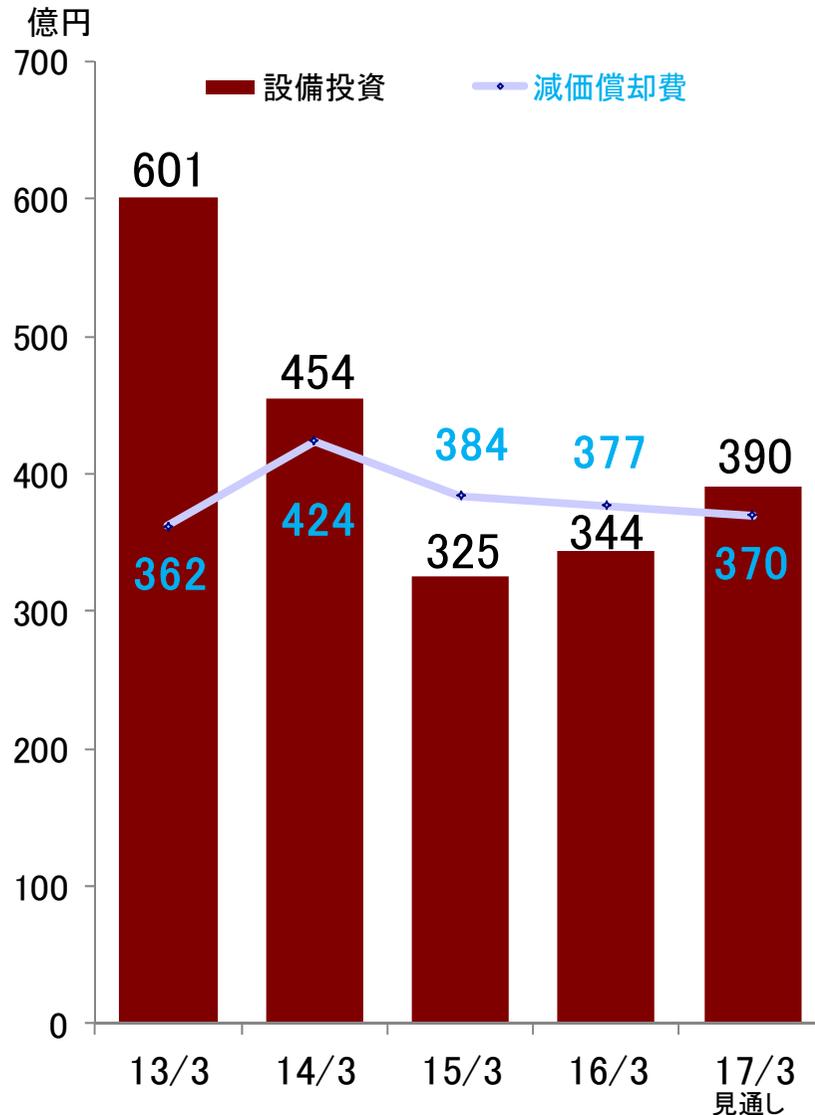
為替影響により売上高を10億円下方修正。営業損失は変わらず。
Optosの事業は計画通りに推移。

2017年3月期 見通し 設備投資・減価償却費 研究開発費

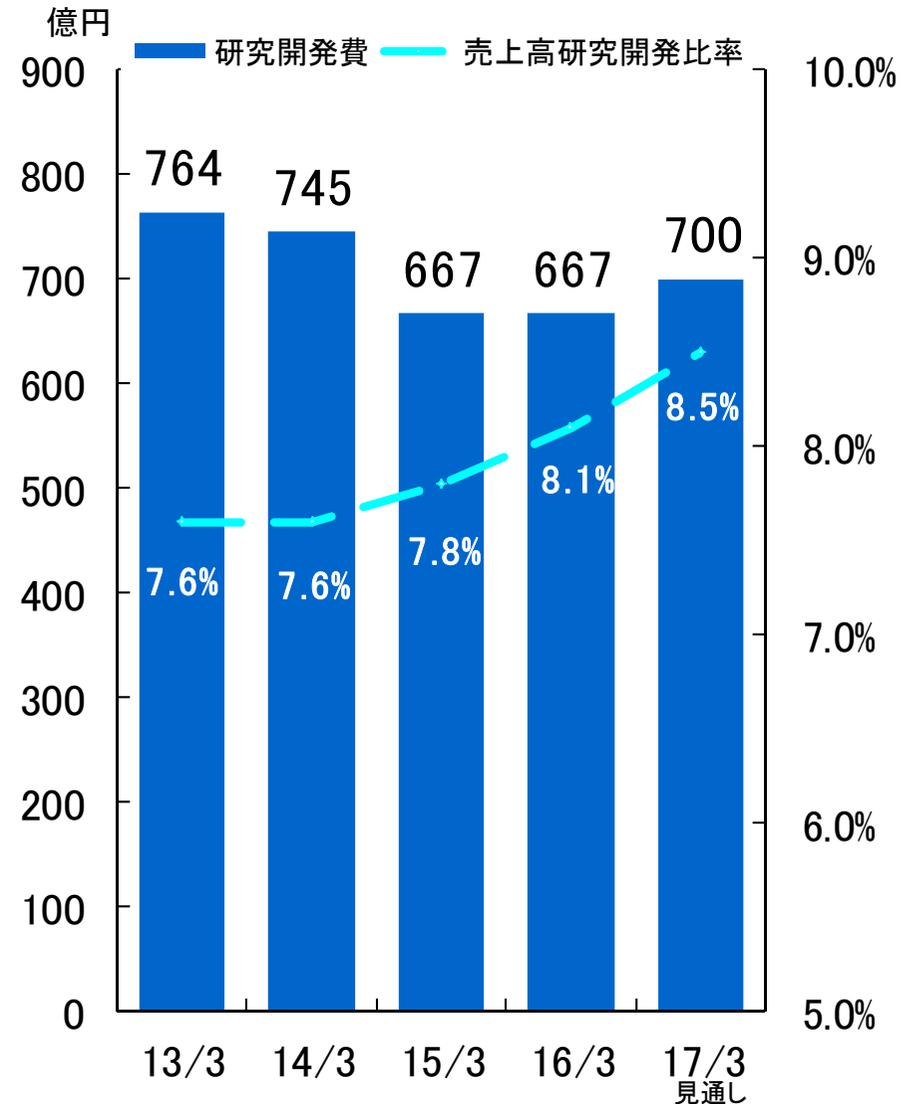
株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



設備投資・減価償却費



研究開発費



* 2015年3月期より、ニコングループの減価償却方法を定額法に統一

Agenda

I. 2017年3月期 第1四半期の概況

II. 2017年3月期の見通し

III. 参考データ

参考データ 為替の影響

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



2017年3月期 見通し

	為替レート	1円の変動による影響額	
	17年3月期 2Q~4Q前提	売上高 2Q~4Q	営業利益 2Q~4Q
USDドル	105円	約 27億円	約 2億円
ユーロ	115円	約 9億円	約 6億円



NIKON CORPORATION